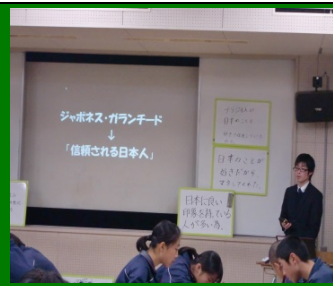


ジャポネス・ガランチード 信頼される日本人

～ブラジル研修における日系人との出会いを通して～



氏名：露崎 麻沙夫

学校名：横浜市立本宿中学校

担当教科：社会科

実践教科：社会科

時間数：4 時間

対象学年：2 学年

人数：31 名（2 年 1 組）

実施概要

【1】単元のテーマ・目標

ブラジル日系移民について学ぶことを通し、移民という存在について理解を深める。

【2】 単元の評価 規準例	(ア) 関心・意欲・態度	移民という存在に関心を持ち、積極的に学ぼうとしている。
	(イ) 思考・判断・表現	多面的・多角的に考察し、公正に判断しながら取り組んでいる。 自らの意見をまとめ、発表できる。
	(ウ) 技能	資料や映像の内容を多面的・多角的に考察し、まとめることができる。
	(エ) 知識・理解	移民について理解することができる。

【3】 単元設定の 理由	本校の生徒はまじめに授業に取り組む。2年1組は比較のおとなしいクラスである。授業を聞く姿勢ができて いる生徒が多い。しかし、考えるような発問を行ったり、表現するような活動を行うと、思考がとまってしまう ことが多い。移民という難しいテーマではあるが、主体的な取組ができる授業を心がけたい。また、中学2年生 という多感な時期である。「まじめなことがかっこ悪い」という思いになってしまうことが多い。現地で出会った 日系人の存在、活躍(ジャポネス・ガランチード)を知り、少しでも一生懸命に取り組む姿勢や勤勉さが、良い ことだと気付かせたい。
✓ 児童 生徒観	
✓ 教材観	「日系人は日本の宝だ」。ブラジルに渡ったある日系の方が言っていた言葉だ。日系の方々に多く会い交流 をしていく中で、素晴らしい方々に会う機会をもつことができた。社会科の教員として、「移民」「日系」につ いて伝える責任と義務を強く感じた。今回は、フォトランゲージ等を通して、ブラジルに日本に関わるものが多い ことに「気づき」、研修で出会った素晴らしい方々の存在を「知り」、「移民」「日系人」のことを「伝える」ことに主 眼を置いて、授業を進めていきたい。
✓ 指導観	

【4】展開計画（全4時間）

時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
1	○「ブラジルについて知ろう」 (全校道徳) テーマ: 国際理解 ● 教師海外研修での体験をも とに、全校生徒にブラジル について知ってもらおう。	◆ 研修で学んだことをもとに、5つのテーマに絞って、全校道 徳としてブラジルを紹介する。 ①ブラジルの概要 ②ブラジルでの発見(ブラジルクイズ) ③ブラジルの学校 ④いざアマゾンへ！ ⑤アンケートで多かった質問に答えます！ ◆ 教師海外研修での体験を伝える。	・研修で撮って きた動画や写 真 ・パワーポイン ト

<p>2 本時</p>	<p>○「ジャポネス・ガランチード 信頼される日本人 ~ブラジル研修における日系人との出会いを通して~」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ブラジル日系移民について学ぶことを通し、移民という存在について理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ①フォトランゲージ「日本？ブラジル？どちらの国で撮られた写真か分けてみましょう！」 ◆ ②「なぜ、ブラジルに日本のものが・・・？」問いに対して考え、発表する。 ◆ ③日系人の存在を紹介、伝える。 <ul style="list-style-type: none"> ・日系人とは ・日系人の数 ・ブラジルで出会った日系人 ・日系人にまつわる場所紹介 ◆ ④なぜモニュメントや、日本人街ができるほど、日本のものが浸透したのか？ ◆ ⑤ジャポネス・ガランチードという言葉紹介 ◆ ⑥みんなが日々生活している中で、大事にしていることは何ですか？ →個人発表 ◆ ⑦日系社会で大切にされていること ◆ ⑧日系の方々とのふるさとを歌う動画視聴 ◆ ⑨振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修で撮ってきた動画や写真 ・フォトランゲージ(日本の写真、ブラジルの写真)
<p>3</p>	<p>○「なぜ日本人はブラジルへ渡ったのか～日系移民の歴史～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● なぜ日本人がブラジルに渡ったのかを理解する。 ● 移民のための荷物を考えることで、当時の人々の気持ちを共感的に理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ①DVD「100年前のブラジルへ、タイムスリップ」を視聴する。 ◆ ②ワークシートを記入、発表。 ◆ ③移民船ビデオを視聴する。 ◆ ④「みんながもし他国に移住するならば、何をトランクに入れていきますか？絵で描き、なぜそれを持っていくのかを書いてみましょう。」 	<ul style="list-style-type: none"> ・DVD「100年前のブラジルへ、タイムスリップ」 ・DVD「夢と希望を運んだ船～移民船での暮らし～」 ・移民トランク
<p>4</p>	<p>○「自分版移民トランク」の発表 ○「日本—ブラジル移民カルタ」をしよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 移民のための荷物を発表することで、当時の人々の気持ちを共感的に理解する。 ● カルタを通して、授業で行えなかった移民や、日系に関する物事を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ①前回考えた、「自分版移民トランク」の中身を班ごとで発表する。 ◆ ②「日本—ブラジル移民カルタ」を班ごとで行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本—ブラジル移民カルタ

【5】本時の展開

過程時間	学習活動	指導上の留意点(支援)	資料(教材)
<p>導入 12分</p>	<p>○前時の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 前時の振り返りシートの内容を一部紹介し、共有する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・前時の振り返りシート

○グループワーク1

- 「ブラジル？日本？どちらの国で撮られた写真か分けてみましょう！」(フォトランゲージ)
 - 答え合わせを行う。
- ◆ 机間巡視を行う。
 - ◆ 参観されている緊張感を、少しでも活動でほぐしたい。
 - ◆ 黒板に答えの写真を貼りながら答え合わせを行う。



グループワーク1の様子

フォトランゲージの活動は、班であれこれ発言しながら、楽しそうに写真を分けていた。答え合わせの際、ブラジルに日本のものが多く存在していることに対して、「えーっ！」「そうなのー？」と、驚きの声が多くあり、日本とブラジルの意外な接点に気づいてもらえたようだ。

・ブラジル、日本、それぞれで撮った写真

展開 1 ○「なぜ、ブラジルに日本のものが多くあるのだろうか？」

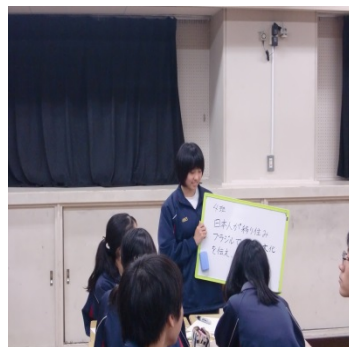
18分 ● 事前アンケートの紹介

- 問いへの予想をワークシートに記入する。
 - ◆ 事前アンケートに日本との関わりについては一人も書いていないことに気付かせる。
- ◆ 机間巡視で、書けない子には支援を行う。
 - ◆ 記入している間に、ホワイトボードを配布する。

・ワークシート Q1

○グループワーク2

- 班で自分の予想を発表し、班内で共有する。
- その後、班で話し合い一つの意見にまとめ、予想を全体に発表し、共有する。
- ◆ 問いの答えのキーワードが、「日系人」「移民」であることを伝える。



グループワーク2の話し合い内容
グループワーク2の様子

その後、「なぜブラジルに日本のものが多くあるのだろうか？」という問いを提起した。個人で考え、その後班で話し合い、全体で発表したが、予想結果は「ブラジルの人は日本が好きだから。」というものが大半だった。もちろん、移民について気づいている班もあった。

展開 2 10分 ○日系人、移民、現在の日系人についての紹介を行う。 ◆ 日系人の定義は、ワークシートに書かせる。 ・パワーポイント

- ・日系人とは
- ・日系人の数
- ・ブラジルで出会った日系人
- ・日系人にまつわる場所紹介

○「なぜモニュメントや、日本人街ができるほど、日本のものが浸透したのか？」 ◆ 問いの答えのキーワードが、今日のテーマ「ジャポネス・ガランチード」であることを伝える。

○「みんなが日々生活している中で、大事にしていることは何ですか？」 ◆ 日々の学校生活で大切にしていることが、現在の日系人の活躍と信頼に結びついていることに気付かせる。

- ワークシートに記入する。
- 個人発表を行う。
- 日系社会で大切にされていることの紹介をする。

・ワークシート
Q2



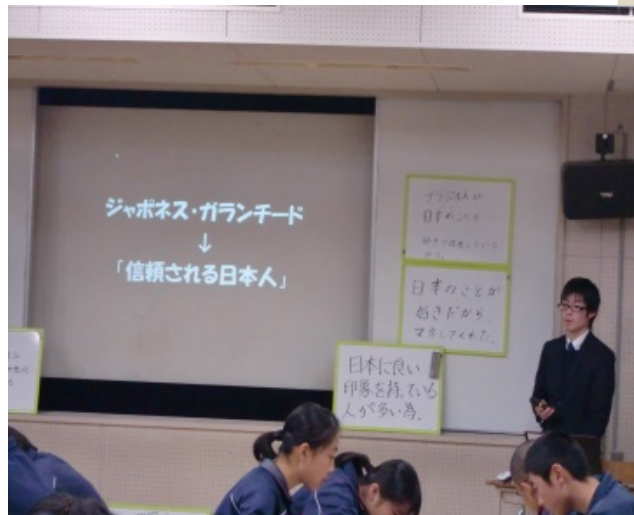
日系社会から通じた日本の制度の信頼によって、サンパウロ州の警察に採用されている。

生徒が日々大事にしていることとしては、「あいさつ」や「礼儀」「感謝」「思いやり」などが挙がり、日系社会の信頼に関する事柄をいくつか紹介した。日々大事にしていることが、信頼につながるということ(ジャポネス・ガランチード)に少しでも気付いてもらえればと思う。

まとめ 10分 ● 日系の方々とのふるさとを歌う動画を視聴する。 ● 振り返りを行う。

最後に、日系人の皆さんと「ふるさと」を歌う動画を視聴した際は、生徒もシンとして観ていた。涙を流しながら歌う様子を見て、何か感じてもらえるものがあればよいと思う。

・ワークシート
Q3,4



【6】本時の振り返り

準備に準備を重ね、行った授業であったので、そこまで大きなミスや不具合はなかったように感じる。日系の方々との素晴らしい出会いを通して、「現在の日系の方々の存在を知ってほしい！伝えたい！」という強い気持ちで今回の授業実践を行った。子どもたちはフォトランゲージ等を通して、ブラジルに日本のものも多く存在していることに対して、「えーっ！」「そうなのー？」と、驚きの声が多くあり、日本とブラジルの意外な接点に気づいてもらえたようである。授業後の振り返りにも「ブラジルに日本の文化がたくさんある、ということに驚きました。」「こんなにも日本らしい景色、物がブラジルにあると知ってとても嬉しくなりました。」など、驚きの様子がよくわかり、手ごたえを感じた。

生徒が日々大事にしていることとしては、「あいさつ」や「礼儀」「感謝」「思いやり」などが挙げられた。ブラジル日系移民の現在の活躍を通して、生徒それぞれ日々大事にしていることが信頼につながるということに少しでも気付いてもらえていればと思っている。以下、生徒の振り返りを載せる。

・「日本だと思った写真がブラジルの写真だったりして、日本っぽいものがブラジルに多いんだなと思いました。また、日系人の努力のおかげで日本人が信頼されていることを知り、他国の人から信頼されることはとてもすごいことだと思いました。」

・「思っていることと全然違って驚いた。そして、日系人がたくさんいることに驚いた。私も宝と呼ばれるよう、努力していきたいなと思った。」

・「今日、ブラジルのことを予想などして見て、日系人という人は知ってはいたものの、あまり深く知らなかったもので、この機会に知ることができ良かったです。また、こんなにたくさん日本の文化が浸透しているんだなと思いました。今までのイメージをたくさん覆され、より深く、ブラジルのことを知れてよかったです。」

また、以下のような疑問が生徒自身から湧き上がってきたことがとても嬉しかった。

・「ブラジルのことを少しわかることができた。ブラジルに日系人がいることもわかった。気になったことは、日系人がどうやって、どうしてブラジルに行ったのかが気になった。」

本時ではあえて、どうやって、どうしてブラジルに渡ったのかは取り上げていない。次の3回目の授業で取り上げるつもりであったものだ。このように、疑問をもってもらうことが次の授業の意欲へとつながる。そのような記述が見れたことに、嬉しさを感じた。

【7】単元を通した生徒の反応/変化

以下、生徒の振り返りの文章である。

・「日本とブラジルの関係が深く、日本人は信用されているということがすごく嬉しかったです。それは、今ブラジルにいる日系人の方々のおかげだと思ったので、それに恥じないような生活をしていきたいと思いました。」

・「ブラジルのイメージががらりと変わり、日本への信頼の気持ちに驚きました。また、私達日本人もその気持ちに応えられるよう、日系人の存在を広めていけたらいいなと思いました。」

・「こんなにも日本らしい景色、物がブラジルにあると知ってとても嬉しくなりました。驚くようなものばかりで、遠い国だけど親しみを感じられてブラジルをもっと知りたいと自分自身も思いました。そして実際に行ってみたいと感じました。」

・「ブラジルに日本の文化がたくさんあるということに驚きました(リベルダーヂ東洋人街に鳥居があったことなど衝撃を受けました)。ブラジルと日本は遠いけれど、こうやって文化を通して交流して、つながれたらいいなと思います。よりブラジルについて知れたので良かったです。」

【単元を通し変容した生徒の態度や学習意欲】

以下、生徒の振り返りの文章である。

・「日本とは違う文化があるから新しい発見ばかりで面白いと思った。そして今回は先生が伝えてくれたけど、次は自分の目で見てみたいと感じた。また、ブラジルの人が日本について知ってくれている、日本が好き、と思うことが嬉しかった。」

・「外国に行ったことがなかったので、ブラジルに興味を持てて、行きたくなりました。」

【途上国・異文化への意識の変容】

(授業前)

- ・「森林しかなくて、学校など建物が発達しないイメージ」
- ・「貧しい国」

(授業後)

- ・「ブラジルは悪いイメージしかなかったけど、実は良いところがいっぱいあるんだなと思いました。また、東京みたいに都市みたいな所が結構あったのでびっくりしました。あと、学校は日本の学校と少し違ったり初めて知ったことがたくさんありました。」
- ・「ブラジルは治安が悪かったり、悪いイメージが多かったけど、私が思っていたブラジルとは違って面白かったです。人も優しく、ご飯もおいしそうで、温かい場所だなと思いました。」
- ・「日本とブラジルの学校での登下校の違いや、学校生活の内容が国だけでこんなに違いがあることに驚きました。普段、私たちが当たり前に行っていることが、ブラジルの人にとっては当たり前じゃなかったりすることを頭に入れ、日々の生活を過ごしていきたいです。」

【8】自己評価

1. 苦労した点

- 事前の準備として苦労した点は二つある。一つ目は、日系人との出会いをどのように伝えるかということであった。そこで移民の歴史から入ってしまうと、興味が半減してしまうと思い、「現在」の日系人の存在・活躍の授業を行ってから、「移民の歴史」に入る授業構成とした。このことで、「現在」の日系人の存在を第一に印象付けることができたように感じる。
- 二つ目は、ブラジルと日本との関わりを、いかに「自分事」として考えてもらうかということである。100年以上も前に渡った人々のことを扱う際に、「他人事」とならないようにすることへの工夫に苦労した。今回は、ブラジルと日本の写真を分けるフォトランゲージや、「みんながもし他国に移住するならば、何をトランクに入れていきますか？」ということを考えさせるワークなどを取り入れることで、できるだけ自分事として考えてもらえるように工夫して授業実践ができたと思う。
- 学習活動が展開する中で、予想外の答えや興味深い発言、疑問ができた時にそれを深めていく時間を確保できなかった。4時間構成という制約の中で、内容を精選し、生徒の発言を深められる時間を確保していく必要性を感じた。

2. 改善点

- 授業実践そのものに関しての改善点は、一般的な異文化を考えるとところまで生徒の思考をもっていくことができなかった点である。生徒の振り返りをみても、「ブラジルのことをよく知れた。」や、「ブラジルのことが好きになった。」等、「ブラジル」という国に対しての好感度は良くなっているようであるが、それをもっと大きな「異文化」として捉え思考を深めることができたかと言われると疑問が残るところである。今後の授業実践をするにあたっては、そこまで深く深められるようになると、異文化についてより深く考えていけるようになることができると感じる。
- また、今後「持続的に」実践をするにあたっては、日系人のアイデンティティの問題がある。ブラジルの研修に行った際、日本人としてのアイデンティティが色濃く残っている方々がまだ多くいる中で、今後は時間の経過と共に日本人としてのアイデンティティが薄れていくことが懸念される。その中で、日本とのつながりを強調して、どのように日系人のことを授業で取り上げていくかは大きな課題となってくる。日系社会においても、日本とのつながりをどのように残していくかということが大きな課題となっているようである。ブラジル研修に参加し、ブラジル日系移民の方々の話を直接聞くことができた一人として、日本とブラジルの日系人をつなぐ架け橋となり、つながりを保っていききたい。そのことが、持続的に実践を行っていく改善策となると思う。

3. 成果が出た点

- 日々の社会科の授業では、あまり話し合い活動ができていなかったのが、ブラジルの実践を機会に班での活動ができ、クラスの友達との交流ができたことが良かった。
- また、生徒が振り返りに多く書いていたのは「ブラジルが好きになった。」「ブラジルに良い印象を持つようになった。」という言葉である。異文化交流をしていく中で、異文化の「良い」面を知ることが、異文化理解の大事な点であると思う。そのこ

とができたことは大いに成果が出た点であると感じた。

4. 備考(授業者による自由記述)

研修で学び体験したことを還元するために授業実践を行ったが、実践を考える過程が、今回の研修で学んだことを自分の中で整理する良いきっかけとなった。何より、自分自身が「異文化」や「世界」に目を向け、考えることができたことが大きな収穫であった。今回の体験で終わりにせず、「持続的に」行っていけるよう、今後とも努力していきたい。

参考資料

- ・2017年度教師海外研修 写真・動画
- ・HP「浜松国際交流協会」<http://www.hi-hice.jp/index.php>
- ・「考えよう！ともに生きる浜松の未来～はままつ多文化共生教材」 浜松国際交流協会
- ・DVD「100年前のブラジルへ、タイムスリップ！～アニメで学ぼう移民の歴史～」 浜松国際交流協会
- ・「学習活動の手引き」 海外移住資料館
- ・「いみんトランク」 海外移住資料館
- ・「移民カルタ」 海外移住資料館
- ・「日本—ブラジル移民カルタ」 海外移住資料館
- ・DVD「夢と希望を運んだ船～移民船での暮らし～」 海外移住資料館
- ・紙芝居「カリナのブラジルとニッポン」 海外移住資料館
- ・紙芝居「海を渡った日本人」 海外移住資料館

本時で使用した主な資料(教材)

- ・パワーポイントスライド



ジャポネス・ガランチード Japones e Garantido

横浜市立本宿中学校
教諭 露崎 麻沙夫

～前回の授業感想①～

日本とは違う文化があるから、新しい発見ばかりで面白いと思った。そして今回は先生が伝えてくれたけど、次は自分の目で見に行きたいと感じた。また、ブラジルの人が日本について知ってくれている、日本が好き、と思うことが嬉しかった。(Sさん)

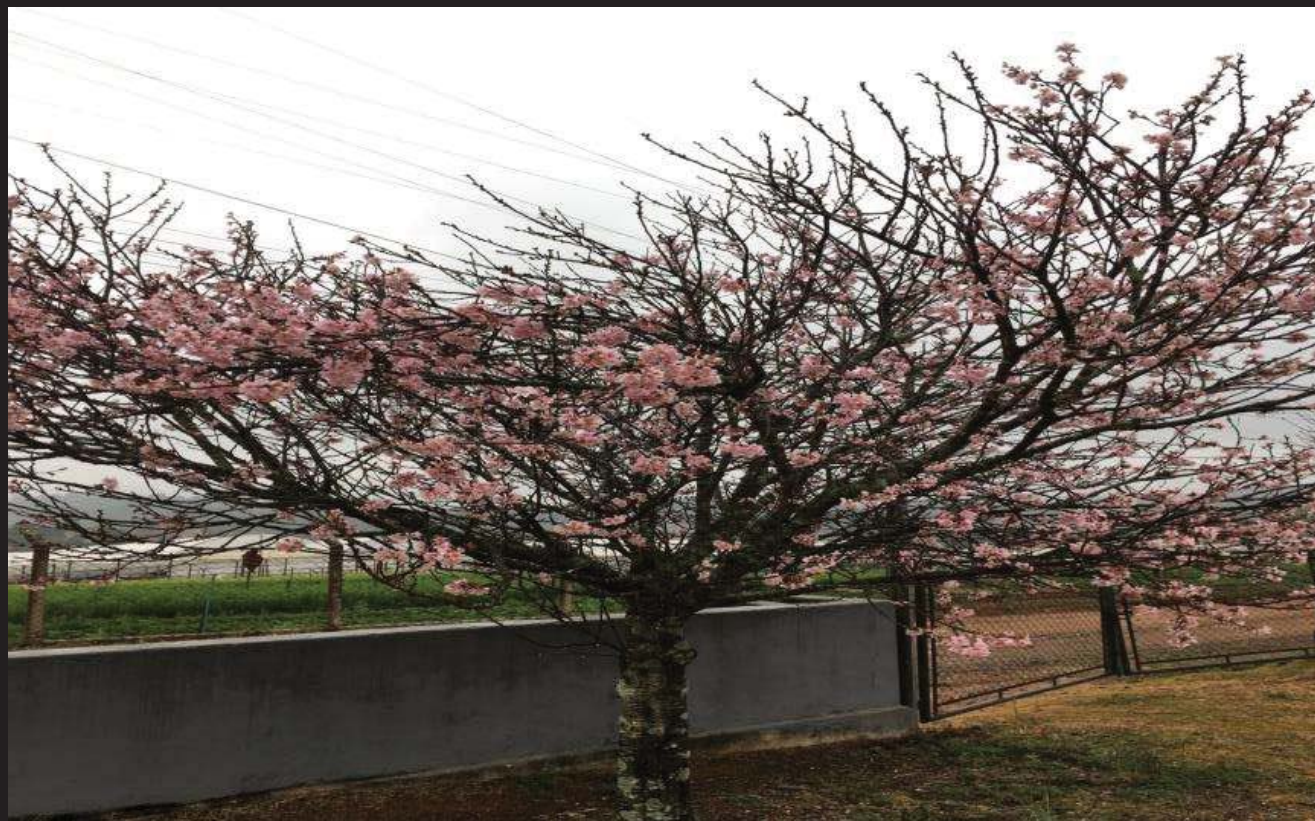
～前回の授業感想②～

ブラジルは悪いイメージしかなかったけど、実はよいところがいっぱいあるんだなと思いました。また、東京みたいに都市みたいなところが結構あったのでびっくりしました。あと、学校は日本の学校と少し違ったり初めて知ったことがたくさんありました。(Tさん)

【グループワーク①】

ブラジル？ 日本？
どちらの国で撮られた
写真か分けてみましょう！

ブラジルor日本クイズ写真 (例) (正解: ブラジル)



ブラジルor日本クイズ写真 (例) (正解: ブラジル)



ブラジルor日本クイズ写真 (例)(正解:日本)



**Q1.なぜブラジルに
日本のものが・・・？**

年 組 番 氏名:

全校道徳に向けて(国際理解)

9月25日の全校道徳では、露崎先生からブラジルでの体験についてのお話があります。

ブラジルについて皆さんが知っていることをかきましょう。

サッカーが有名。 国旗が主に、みどり・黄色
 アマゾン川がある。 オリンピックが行われた。
 面積が広い。 ↑(リオデジャネイロ)

今回の体験について、露崎先生に質問してみたいことを書きましょう。

ブラジルに行ってみて一番意外だったことは?

～アンケート結果より(2年1組)～

ブラジルについて皆さんの知っていることを書きましょう。

- 第1位 サッカー 17票
- 第2位 日本と反対側に位置する 12票
- 第3位 リオデジャネイロオリンピック 10票
- 第4位 リオのカーニバル(サンバ) 9票
- 第5位 コーヒー 8票
- 第6位 暑い・アマゾン川(ピラニア) 6票
- 第8位 面積が大きい 5票
- 第9位 黒人が多い・自然豊か 3票
- 第10位 アマゾン・南半球・治安が悪い・ポルトガル語 2票

日本との関わりについては
0票!!

その他・・・発展途上国・ネイマール・首都ブラジリア・大きな像
 ケバブがある・明るい・森林破壊・ヘラクレスの生息地
 「ブラジルの人きこえますかー?」・視力が良い

Q1.なぜブラジルに日本のものが…？

【グループワーク②】

「なぜブラジルに日本のものが？」

- ①自分の書いた予想を、班のメンバーに発表し、共有する。
- ②共有が終わったら、代表者は前にホワイトボードを取りに来る。
- ③問いについて班で話し合い、一つの予想を出し、ホワイトボードに書く。
- ④5分後、全体で発表をする。

キーワード

「日系人」

「移民」

日系人

とは・・・？

日系人とは・・・？

日本から海外に本拠地を移し、
永住の目的を持って生活されて
いる日本人並びにその子孫

(海外日系人協会より)





リベルダーヂ東洋人街

ブラジルは、日系人の最も多い国で、1908年以降13万人の日本人が移住し、現在は190万人の日系人が住むといわれています。サンパウロには、日本人移民が多く暮らし、築いてきたリベルダーヂという町があります。日本食レストラン、食品店、日本庭園等、日本らしさを感じる景観が多くありました。



鳥居や提灯などのある景観



マクドナルドの中にも日本庭園があります

日本移民史料館

ガイドのTAKEDAさん(日系2世)がご自身の体験を交えながら、館内のさまざまな展示を案内してくださいました。移住当時の暮らしや日系移民の歩みを伺いました。日系の方々がブラジルの地で信頼を得るために努力してきた歴史があることを知りました。



←「移民船」の模型。当時は日本からサントス港まで48日間。長い長い道のりに、もう帰ることはできないと思ったという話を伺いました。



←最初に移民した人々は、コーヒー農園で労働し、簡易な小屋に住んでいました。虫や動物、壁の隙間から雨が入るなどの苦労があったそうです。

→戦争中、日系社会は日本の勝利を信じる「勝ち組」と、反対の「負け組」とに分断され、厳しい時代を過ごしました。



日本移民上陸記念碑・移住100周年モニュメント

日本の移民船が最初に到着したサントスの港に、この移住100周年モニュメントと日本移民上陸記念碑があります。記念碑の麓には「この大地に夢を」と刻まれており、当時港に降り立った人々の姿や想いが伝えられていました。



サントス厚生ホーム

サントスは、日本の移民船が最初に到着した港です。そのサントスにある厚生ホームはもともと、日本人が一時滞在する「移民の家」でした。現在は、日系の高齢者が長期的に過ごす介護施設として運営されています。

日系1世、2世の方々のお話を伺いました。戦時中のことや農業、学校、家族のことなど、胸に迫る貴重なお話をたくさん聞かせていただきました。さいごにはみなさんと、「ふるさと」を一緒に歌いました。



なぜモニュメントや、日本人街
ができるほど、日本のものが浸
透したのか…？

キーワード

ジャポネス・

ガラランチード

Q2.みんなが日々生活している中で、大事にしていることは何ですか？三つ書いてみましょう。

→例:あいさつ など

ジャポネス・ガランチード



「信頼される日本人」





～元サンパウロ州知事 マリオ・コーバスの言葉～

**「ブラジルの日系人は、日本
が私たちに与えて下さった
最大の贈り物である。」**

～元ブラジル大統領 ガイゼルの言葉～
(移民70周年記念祭にて)

「日系人はブラジル国民
の重要な一部である」

